

## 1 この科目の構成について

教 科	数学科	科 目	数学Ⅱ	単 位	5単位
対象コース	カレッジコース	対象クラス	3年2組		
使用教科書					
使用副教材	ベーシックスタイル数学ⅠAⅡB（数研出版） センター攻略PICKUP120数学ⅠAⅡB（東京書籍） フォーカスアップ数学Ⅰ+A（啓林館） フォーカスアップ数学Ⅱ+B（啓林館）				

## 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
	・数学ⅠAⅡBの基本事項を復習し、実践問題に応用するための土台を作る。 ・センター試験レベルの問題を時間の中で速く、正確に解ける力を身につける。
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
	●数学ⅠAⅡBの復習 ●センター試験対策
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
(1) 学校	問題集で演習し、解答解説をします。
(2) 家庭	家庭学習においては出された宿題は確実に解決し、分からなかった部分は授業での解答を手がかりに積極的に質問し、解決できるようにしておいて下さい。授業中に解いた問題も、家庭でもう一度解きなおきましょう。十分な演習量を確保し、数多く問題に触れるよう心掛けて勉強してください。

## 3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
	(1) 定期考査…年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容、問題集、およびその類題から出題します。 (2) 小テスト…必要に応じて単元確認テストを行います。 (3) 演習プリント…プリント演習は必要に応じて行います。提出状況は平常点に加えていきます。 (4) 学期中の課題…授業理解の確認のために宿題を課します。また、長期休業中には宿題を課します。
評価における定期考査の割合	
	60%

## 4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
(1) 関心・意欲・態度	各分野の考え方に関心を持ち、意欲的に取り組んでいるかは、授業への出席状況・授業へ取り組む姿勢・課題の提出状況で評価します。
(2) 思考・判断	授業の各分野において、単に計算ができるだけでなく、より効率的な解法を追究する姿勢を評価します。
(3) 技能・表現	答案作りについて、論理的かどうか。また各分野において、事象を数学的に考察し、表現し、処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題が解決できるかどうかを評価します。
(4) 知識・理解	各分野の定理・法則・用語を理解し、基礎的知識が身に付いているかは、定期考査で評価します。

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—	重視する評価の観点					
期	月	学習の項目	学習の内容		関	思	技	知
1	4	「ベーシックスタイル」, 「PICKUP120」	「ベーシックスタイル」と「PICKUP120」を用いて演習を行います。					
		数学ⅡB 1章 式と証明	1節 式と計算	～ 2節 等式・不等式の証明	●	●	●	●
	5	2章 複素数と方程式	1節 複素数と2次方程式の解	～ 2節 高次方程式	●	●	●	●
		3章 図形と方程式	1節 点と直線	～ 3節 軌跡と領域	●	●	●	●
	6	4章 三角関数	1節 三角関数	～ 2節 加法定理	●	●	●	●
		5章 指数関数と対数関数	1節 指数関数	～ 2節 対数関数	●	●	●	●
	7	6章 微分法と積分法	1節 微分係数と導関数	～ 3節 積分法	●	●	●	●
		数学ⅠA 1章 数と式	1節 式の計算	～ 4節 集合と命題	●	●	●	●
	8	2章 2次関数	1節 2次関数とグラフ	～ 3節 2次方程式と2次不等式	●	●	●	●
		3章 図形と計量	1節 三角比	～ 2節 三角形への応用	●	●	●	●
	2	4章 データの分析	1節 代表値	～ 1節 相関係数	●	●	●	●
		9	5章 場合の数と確率	1節 場合の数	～ 2節 確率	●	●	●
10	6章 図形の性質	1節 平面図形	～ 2節 空間図形	●	●	●	●	
	7章 整数の性質	1節 約数と倍数	～ 3節 整数の性質の活用	●	●	●	●	
11	センター試験演習	センター試験を意識した入試対策演習			●	●		
12								
3	1	私大対策・国立2次対策演習	記述試験を意識した入試対策演習			●	●	